

生殖医療への貢献

生殖医療は、子をもちたいという希望に応える医療です。その概要と、胚培養士がどう貢献しているかを学ぶのが本特集のテーマです。まず、不妊症、不育症の原因や現状を解説し、次に、その診断や対応についてオーバービューしています。さらに、生殖補助医療(体外受精)についてのポイントを解説しています。

胚培養士については、わが国における培養士制度の経緯を含めた現状と問題点を紹介しています。臨床検査技師のキャリアパスの1つとして参考にしてください。

最後に、特に社会的影響が大きい、生殖医療におけるリスク管理を解説しています。多くの方にとってあまり身近な領域ではないかも知れませんが、今後、ニーズが高まることが予想されます。社会的関心の高いテーマでもありますので、全ての項目を精読いただければ幸いです。

山田俊幸(自治医科大学臨床検査医学)